

林業成長産業化地域創出モデル事業の取り組み
～福島県南会津地域～

南会津の**森林活用**モデル
- 森林の価値創出と地域サプライチェーン -

NPO法人みなみあいづ森林ネットワーク
代表理事 松澤 瞬

林業成長産業化地域創出モデル事業（2017年～2022年）

南会津町の3つの目標

林産業従事者
の増加

素材生産量
の増加

森林認証林
の拡大

1. 南会津の林産業の現状

2. 地域サプライチェーンの構築

3. 次のビジョンは「広葉樹」

1.南会津の林産業の現状

〈地理・気候的条件〉

- ・東北地方への南の玄関口
- ・日本でも有数の特別豪雪地帯に指定
- ・総面積88,652ha（森林面積92%）
- ・森林面積のうち民有林56,000ha（広葉樹70%）

〈産業・文化〉

- ・農業と林業を基幹産業
- ・昭和30年代は東北最大の広葉樹供給基地
広葉樹素材生産量 全国1位（山口営林署）
- ・現在は建築材・家具/雑貨・バ イマス・精油などの
カスケード 利用に取り組む



南会津町の変化

林業の最盛期

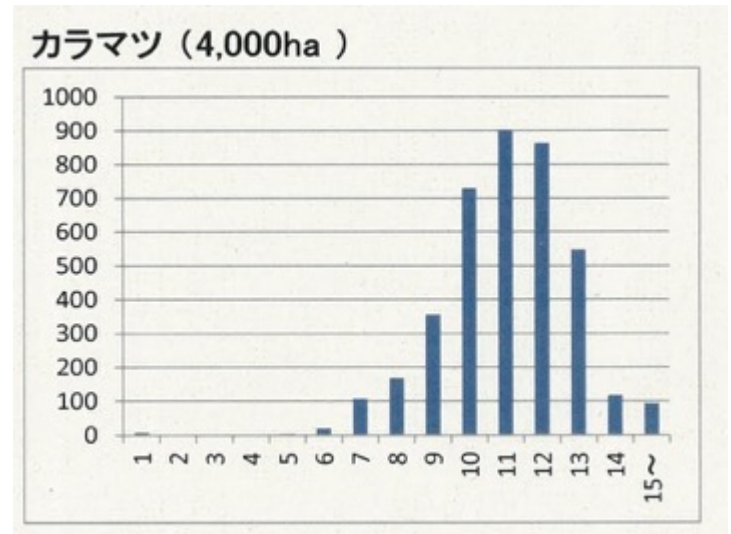
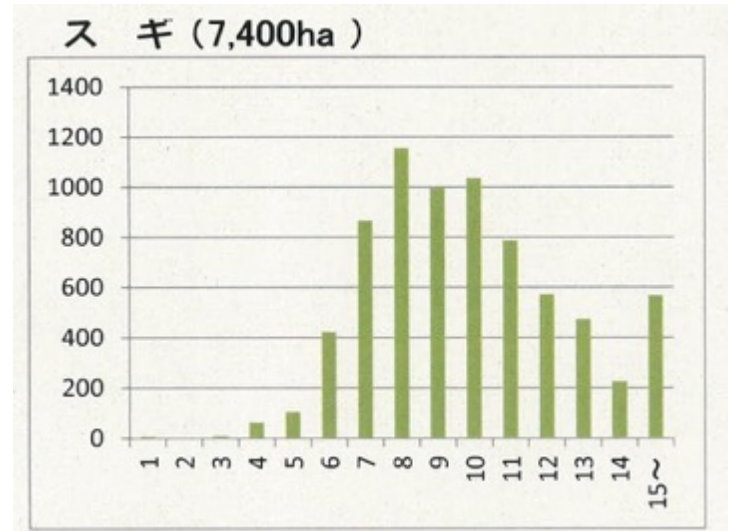
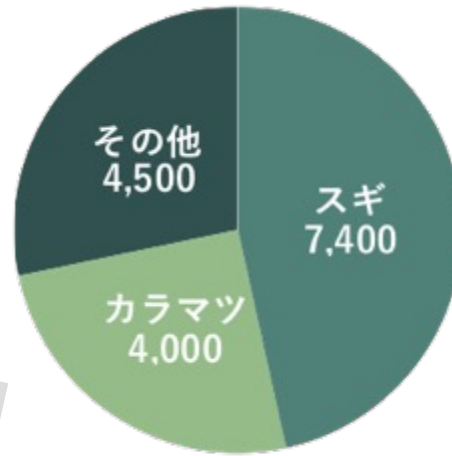
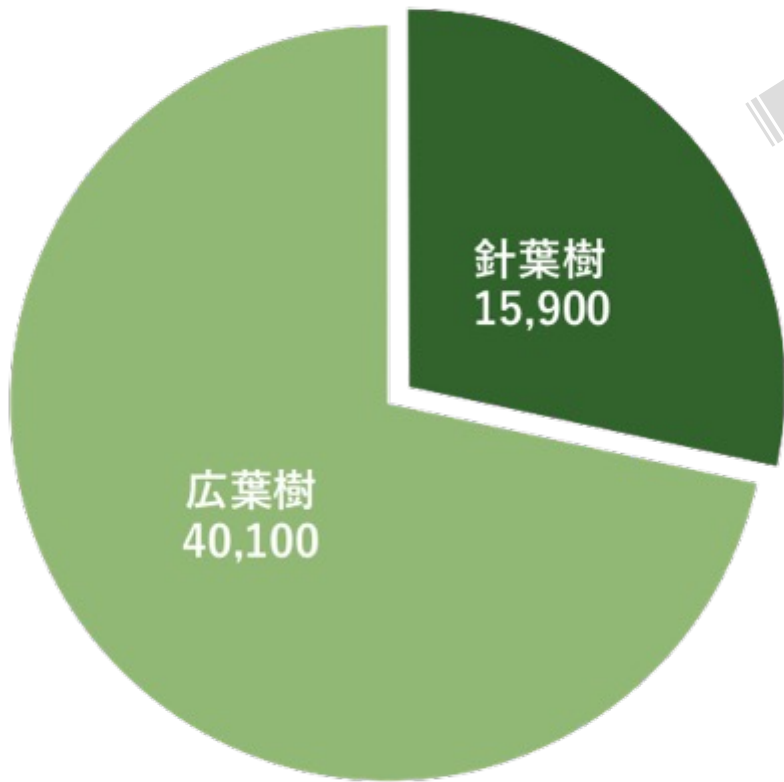
- 「**広葉樹の町**」として発展
東北地方の広葉樹集出荷基地
- 山口営林署広葉樹生産**全国 1 位**
- 林産業関係業者 約**75**社
- 昭和30年代 年間**32万m³**の素材生産
- 木材価格 杉 **18,000**円/m³



林業の低迷期

- 約20年前「**広葉樹の乱伐反対運動**」
- 平成15年 生態系保護地域の指定
国有林内天然林の**全面伐採禁止**
- 林産業関係業者**13**社 従事者200人
- 年間**3万m³**の素材生産
- 木材価格 杉 **1,200**円/m³

森林資源の分布



カラマツは福島県全体の**42%**が南会津町にあるが、
 年齢級構成は人工林の全国平均よりも高い状況にある。

地域が抱える林業課題

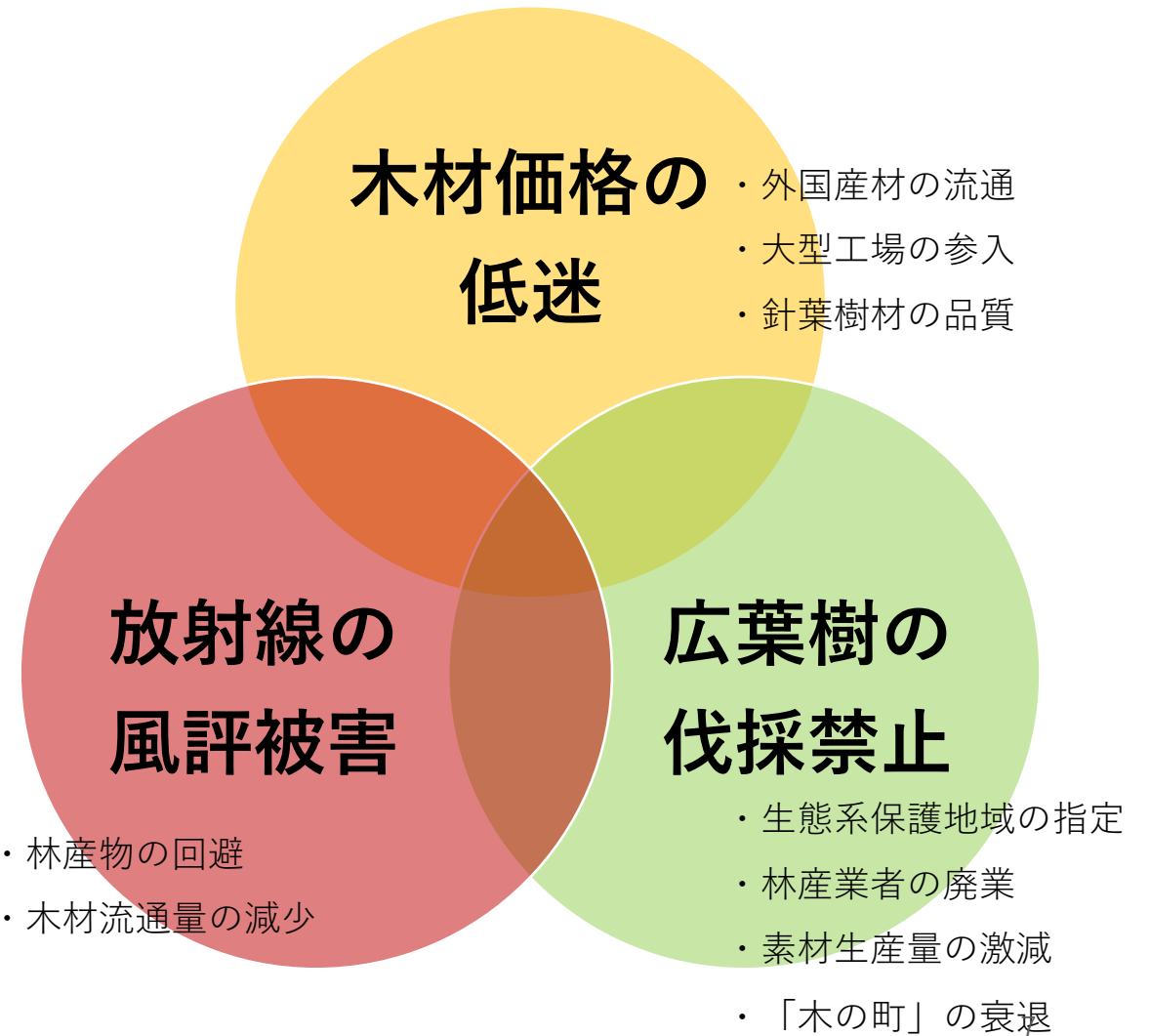
地域全体の疲弊と荒廃

- ・ 素材生産量の激減
- ・ 林業従事者の減少
- ・ 基幹産業の衰退
- ・ 自然環境の荒廃
- ・ 高齢化や後継者の不足



2013年 設立

NPO法人みなみあいづ森林ネットワーク



2.地域サプライチェーンの構築

NPO法人みなみあいづ森林ネットワーク

組織) 素材生産、製材、建築、加工、流通、森林組合、行政、大学等の**33団体**

機能) 民間事業者同士、産学官を繋げるハブ機能

業務) 地域産材の流通管理と促進



南会津地域の共通認識

南会津町の林業復興に向けた4つの指針

- (1) 木材の流通量拡大「消費出口から考える」
- (2) 小規模事業者同士の連携「組むことで個性を発揮」
- (3) 木材への付加価値「丸太ではなく製品化」
- (4) 森林資源の新しい視点「新しい活用と多面的活用」

地域サプライチェーンのメリット

南会津の地域事情から考えるネットワークのメリット

① 小規模事業者が多い

- ・ 個で踏ん張ったり、競うことよりも連携することのメリット
- ・ 得意不得意分野を生かし、互いの課題を補完

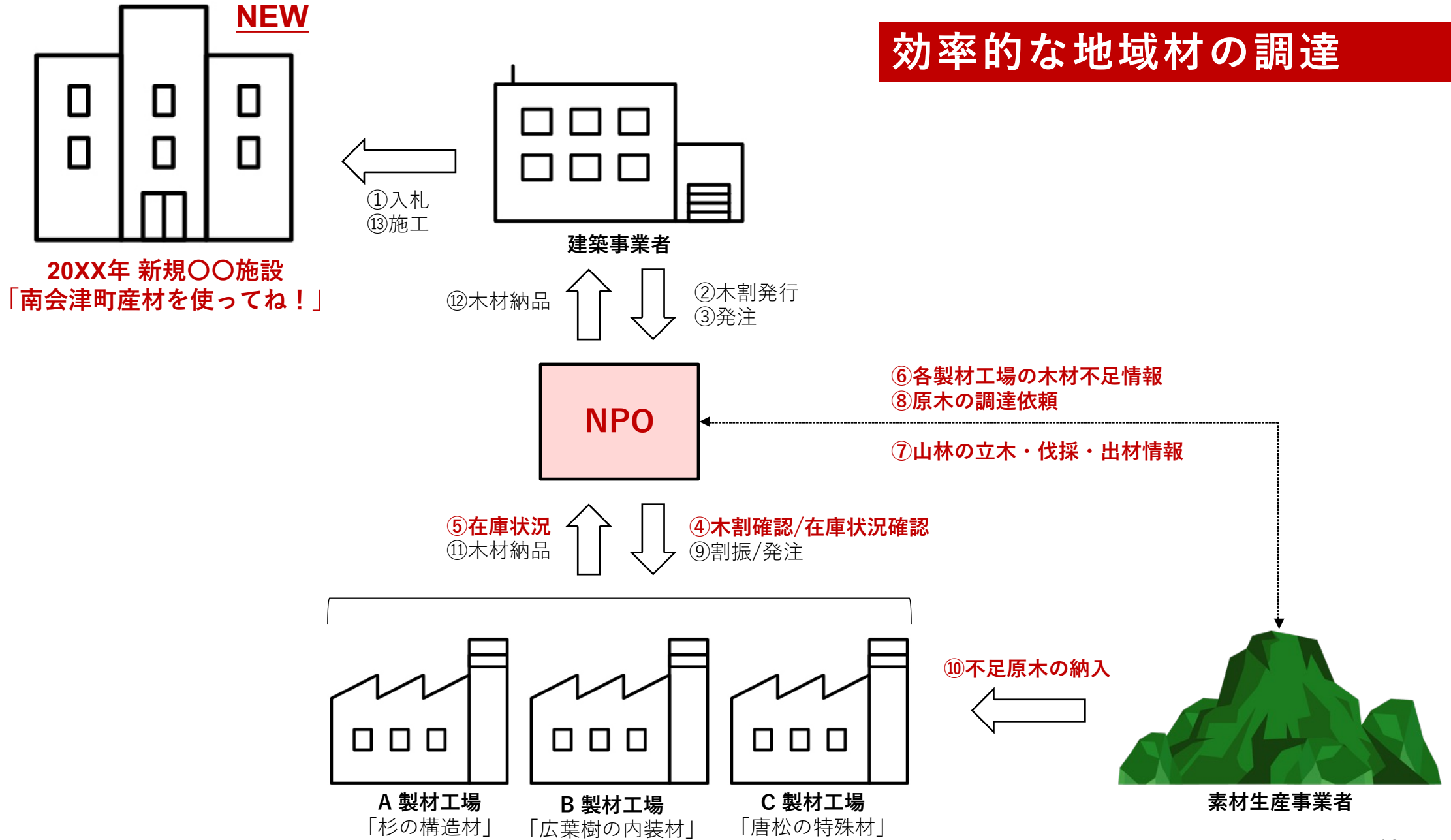
② 川上から川下までが揃う

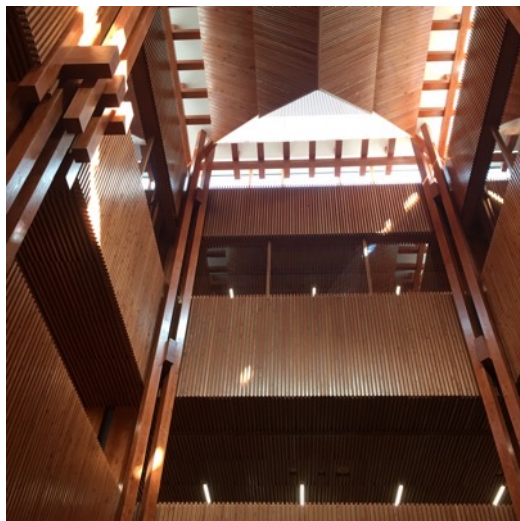
- ・ 山林から消費出口までが地域に揃うメリットから考える
- ・ 価格や製品の流れを一体的に把握し、効率的・安定的な流通

③ 経済力はないが技術力はある

- ・ 技術力にデザイン力を付与し、売れる商品づくり
- ・ 単独ではなく地域の他製品と一緒にPR (ex. 住宅 + 家具 + 雑貨)

効率的な地域材の調達





南会津町庁舎



新国立競技場



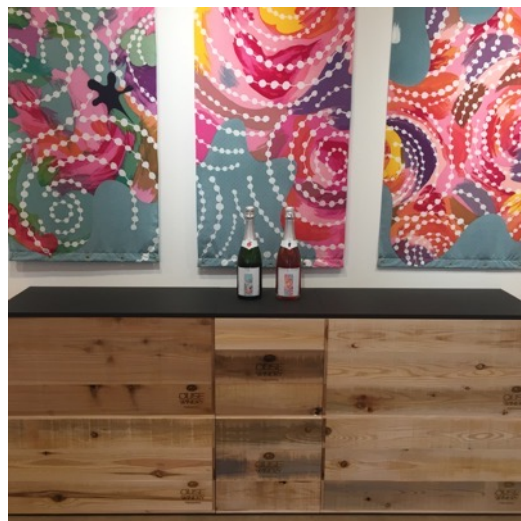
南会津町消防庁舎



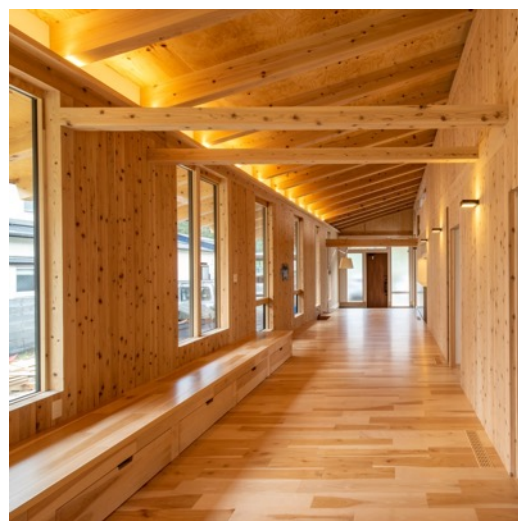
星の郷ホテル



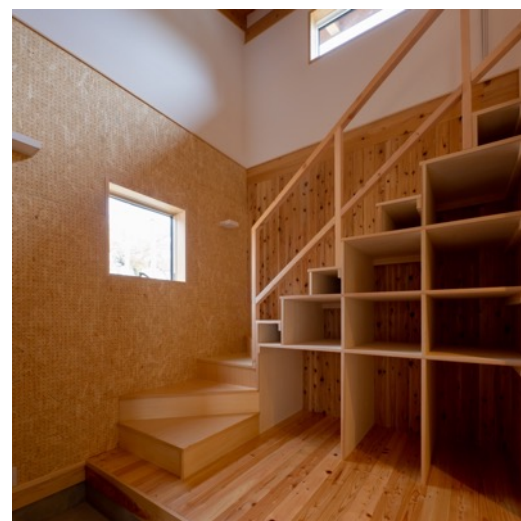
家具



什器



一般個人住宅



▶ 公共建築物への木材納入 実績約**40**棟 (2012年~2020年)
一般住宅 実績約**40**棟 (2018年~2020年)

森林認証を軸としたサプライチェーン

サプライチェーンの構築（一般論）

- ① 理念や目的の共感 ② ステークホルダーの関係性 ③ 共通の課題克服



「地域の多様な事業者や行政が一緒の方向を向くにはどうしたら良いのか？」



森林認証SGECの取得（グループ認証）

- ・ 森林認証の理念を南会津地域の森林づくりに反映する（行政/FM認証）
- ・ 森林認証を普及することが南会津地域にとっても事業者にとっても必要不可欠なことという社会的ミッションを共有（民間/CoC認証）

FM認証林

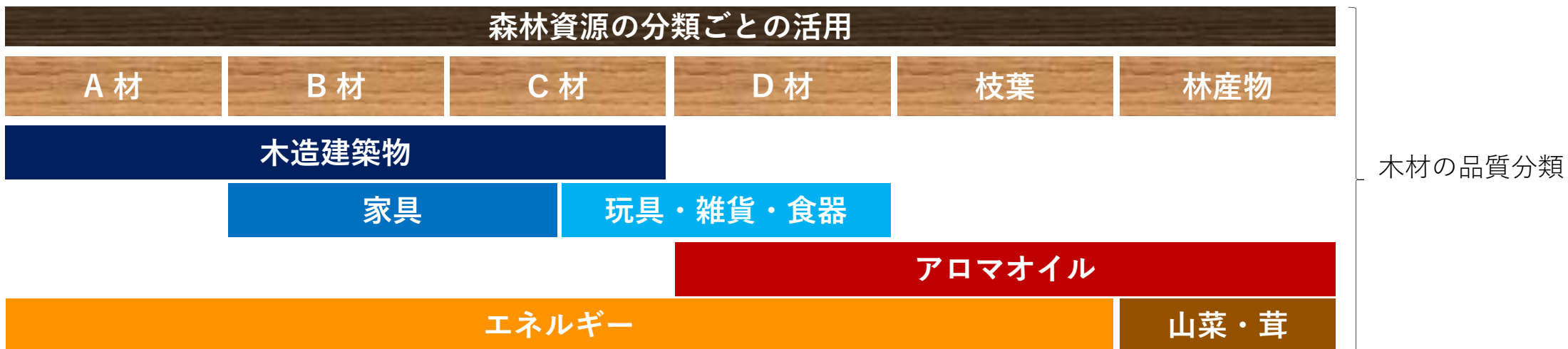
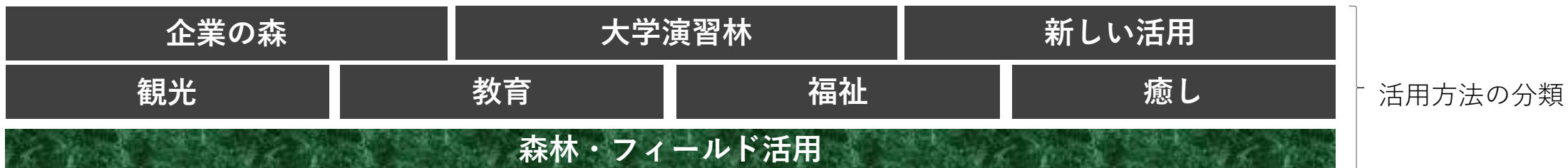
2014年 南会津町有林 477ha 取得
2019年 南会津町有林 全域 **9,288**ha 取得

CoC管理事業体

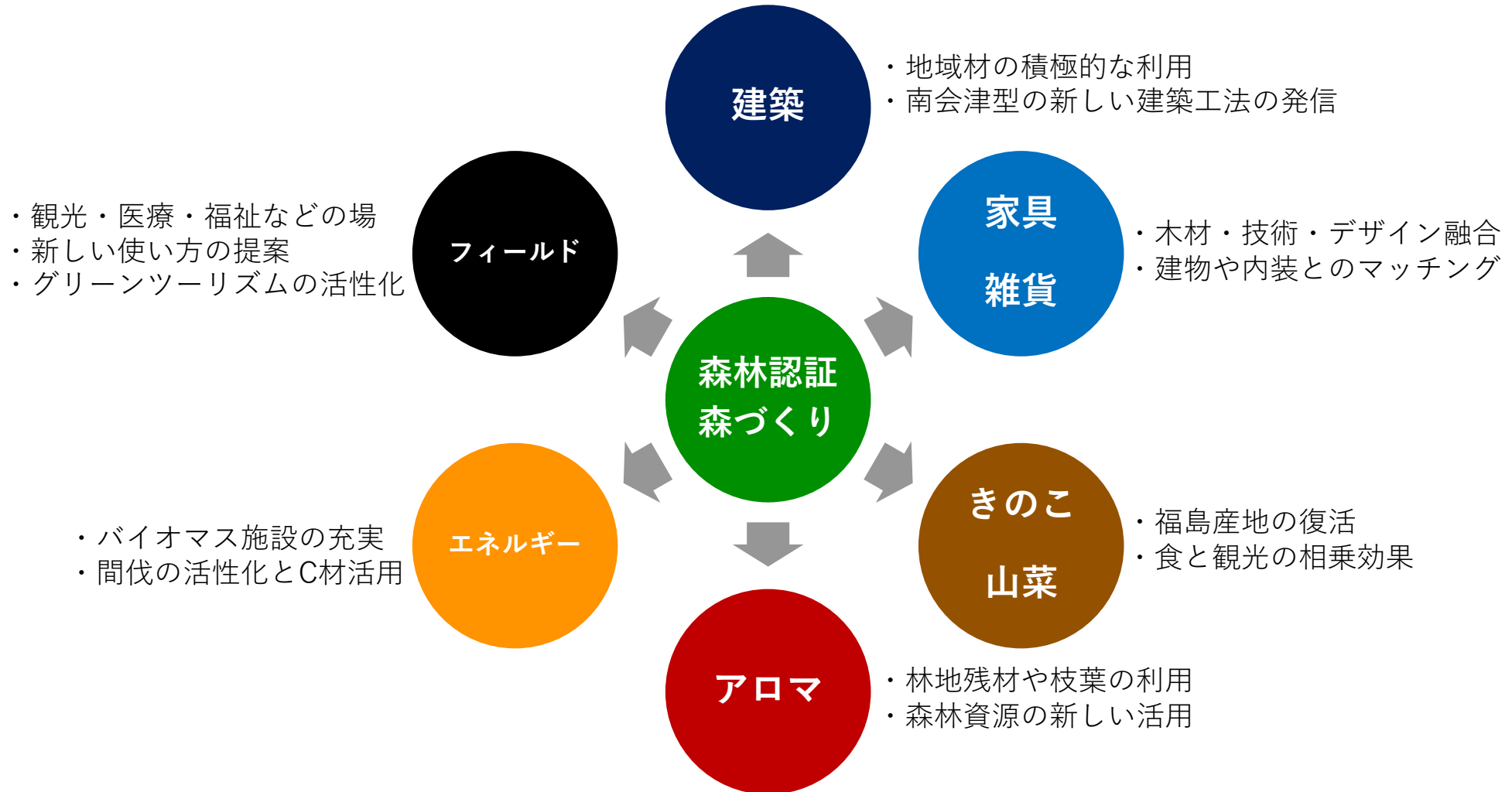
2020年 町内 **16**事業者 5ヵ年更新

素材生産業	3社	建築業	7社
製材業	6社	設計業	1社
製造業	7社	流通業	2社
加工業	2社	16事業者 述べ28業種	

森林資源のカスケード利用とサプライチェーン



森林認証を核として



カスケード利用の実例



南会津森林認証推進協議会FORESTA



レストーリエ/児山製作所/金中林産



マストロ・ジェッペット



広葉樹Wood Wall Art 7° 03' E 外



南会津森林組合/あたご作業所



南会津広葉樹利用生産協同組合



NPO里の会/一十八日

3.次のビジョンは「広葉樹」

2017年 林業成長産業化地域創出モデル事業への採択

▶ 地域林業の「弱み」と「強み」を明確に整理

- ・ **優良広葉樹の減少**と外国産材流入による林産業の衰退
- ・ 豊富な資源を有する一方で**消費出口が乏しい**
大半がパルプ材やバイオマス用材に流通
- ・ 地産外消のための「**武器**」が欲しい

エンドユーザーのニーズ多様化

- ・ 木を魅せるリノベーションやインテリア流行

国産広葉樹の価値の見直し

- ・ 設計士や家具メーカーの需要増加

「**広葉樹**」を再び
林業活性化のコアファクターに！

広葉樹の生産と流通の強化

生産体制



生産力の向上（研修会の開催）



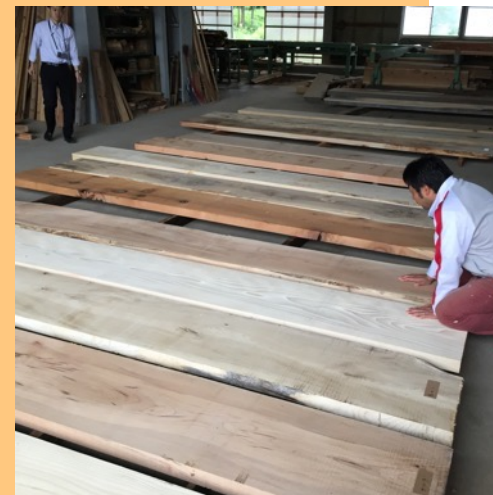
伐採林地の集約化（森林情報の蓄積）



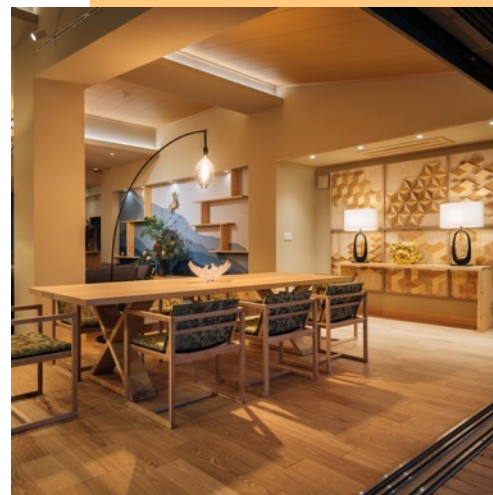
流通体制



原木の販売（盛岡&ST）



挽板の販売



製品化（インテリア/家具/内装）



製品化（玩具/生活雑貨）

南会津の目指す森林・林業



林業成長産業化地域創出モデル事業の集大成

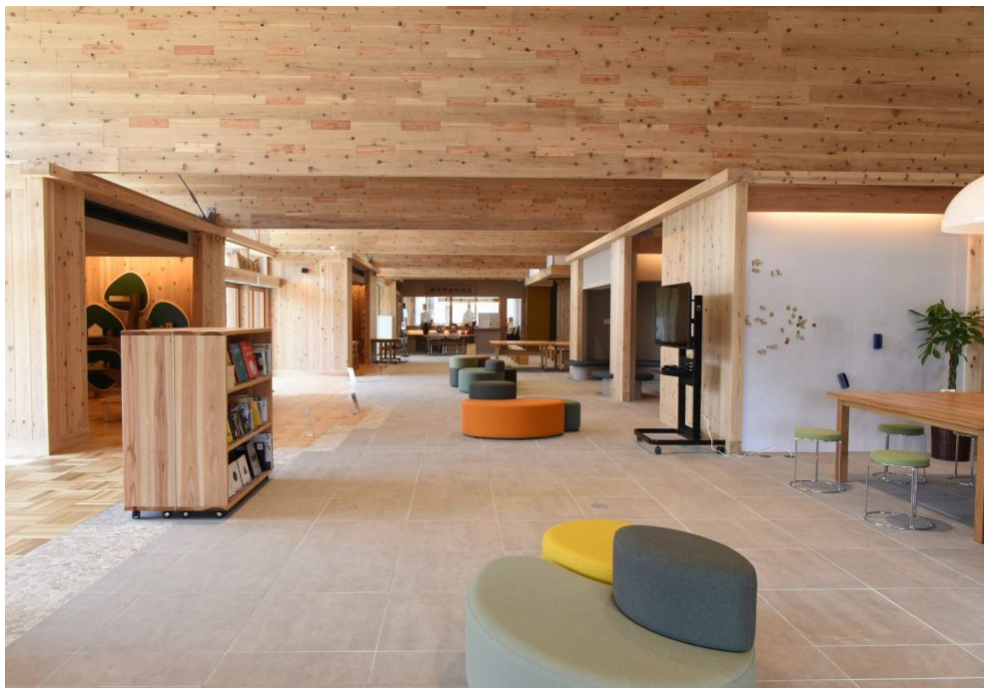
資源力 × 技術力 × 連携力 を結集させた産業の発信拠点

みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」2022年4月OPEN



- 森林認証材100%（構造材）
- 南会津で生まれた構法「縦ログ」
- 設計～木材～建築～家具まで地域サプライチェーン
- 広葉樹を使った家具や内装 など





まなぶば

まなぶば



あそぶば



つくるば